

## 令和5年度の観光人材育成の取組について（案）

## 1 観光人材アンケート結果について

- 実施時期：8月17日～8月31日
- 対象者：管内市町観光担当者，みやぎ観光振興会議仙南圏域会議委員，管内観光関係事業者，地域おこし協力隊，管内地産地消推進店 等
- 回答数：16件
- 結果概要：
  - ① 優先度が高い取組
    - ・観光事業者の意識啓発（魅力的な観光地づくり，おもてなし力の向上）
    - ・地域住民による地域資源発掘や地元の魅力再発見などによる機運醸成
    - ・観光事業者あるいは異業種の交流の場づくり
    - ・観光事業者のスキル向上（商品企画・開発、ブランディング，販売促進，広報）
  - ② 主な意見
    - ・仙南全体で観光事業者のスキル底上げができればよい
    - ・観光に携わる人たち（事業者，住民等）の意識を高める施策
    - ・観光事業者，関係事業者の繋がり，連携が弱い
    - ・異業種も含めた交流が第一
    - ・民間事業者と行政担当者との交流の企画を希望
    - ・観光の素材となる魅力を発見し磨いていく
    - ・地元の良い面、悪い面を地元の人が一番知らない
    - ・地域を知る機会，学ぶ勉強会がしたい
    - ・若者の新しい着眼点により観光の魅力を発見し伝えていく
    - ・昨年のスイーツマップは好評。食と体験がブームなので，体験コンテンツに絞ったマップ作成は喜ばれる。

## 2 令和5年度以降の観光人材育成の取組

どのような取組が必要か・・・

## 【取組（案）】

- ・「仙南版 フェニックス塾（※）」の開催

仙南地域の観光を担う人材育成を目的として，地域の観光に関わる官・民，業種を超えた実務者層を中心に，第1部セミナー&第2部ワークショップ形式で年間5回程度の連続講座を開催し，塾生に仙南地域での観光振興に関する知見を習得していただくとともに，異業種を含めた交流づくりを行うもの。

（例）

	開催地	内容	テーマ
第1回	大河原町	第1部：セミナー 第2部：ワークショップ	アフターコロナに向けた持続的観光
第2回	白石市	〃	観光におけるDX活用
第3回	丸森町	〃	インバウンド市場とその対応
第4回	蔵王町	〃	観光におけるブランディング
第5回	角田市	〃	デジタル活用とブランディングの成功事例

## ※ フェニックス塾とは？

東北観光推進機構が，東北観光を担う人材育成を目的に，地域における観光振興策を企画、立案する構想力と、それらの実践力を育成する塾（2016年度～開催，今年度は第七期実施中）。

送付先FAX番号：0224-53-3076/メールアドレス：oksinbk2@pref.miyagi.lg.jp  
宮城県大河原地方振興事務所 振興第二班（TEL：0224-53-3182）

令和5年度以降の仙南地域の観光人財育成の取組に向けたアンケート

- 「第5期みやぎ観光戦略プラン」（令和4年9月末策定予定）で仙南圏域の施策の方向として掲げている「仙南地域の観光を支える人財育成」について検討するに当たり、地域の観光関係者のニーズについて調査しますので、アンケートへの御協力をよろしくお願いいたします。  
なお、お預かりした個人情報について、本アンケートの目的以外で使用することはありません。

Q1 回答者について

氏名（所属）	
年齢	<input type="checkbox"/> 10代 <input type="checkbox"/> 20代 <input type="checkbox"/> 30代 <input type="checkbox"/> 40代 <input type="checkbox"/> 50代 <input type="checkbox"/> 60代以上
分類	<input type="checkbox"/> 観光施設 <input type="checkbox"/> 宿泊業 <input type="checkbox"/> 直売所 <input type="checkbox"/> 飲食店 <input type="checkbox"/> 行政（市町観光担当者） <input type="checkbox"/> 大学関係者 <input type="checkbox"/> その他（ ）

Q2 今後の仙南地域の観光人財育成の取組として、優先的に実施すべきものを3つ選び、優先度の高いものから1, 2, 3と順位を付けてください。

- 観光事業者の意識啓発（魅力的な観光地づくり、おもてなし力の向上 等）  
 観光事業者のスキル向上（商品企画・開発、ブランディング、販売促進、広報・情報発信 [SNS, 写真の撮り方等]）  
 観光事業者のDX活用  
 観光事業者のインバウンド対策  
 観光事業者間あるいは異業種間の交流の場づくり  
 地元大学生と観光事業者との連携  
（大学生は仙南地域の観光の現状や魅力を知っていただき、事業者は学生の若い視点やアイデアを課題解決のヒントとし、次代の観光人財の育成を図るもの）  
 即戦力として観光の現場で活躍できる実践的な研修等  
 地元高校生に仙南地域の魅力を知っていただく取組  
（R5年度に新設される大河原産業高校の「地域探求プロジェクト」等の活動と連携し、仙南地域の観光事業者やまちづくり団体の活動を知ってもらい、次代の観光人財の育成を図るもの）  
 地域住民による地域資源発掘や地元の魅力再発見などによる意識醸成  
 地域住民が関係人口（交流人口）を生み、地域を活性化していくための「観光まちづくり」の必要性等を学ぶ場づくり  
 インバウンド対応能力の強化に向けた研修  
 地域の魅力を分かりやすく伝える力、おもてなし力やコミュニケーション力の向上等を学び、観光ガイドを養成する研修  
 その他 ※下欄に記載してください

Q3 上記Q2で選択した理由について記載してください。

Q4 その他、観光人財育成以外でも結構ですので、今後、仙南圏域の観光施策として取り組んだ方がよいと思うものなど、ご自由に記載をお願いします。

御協力ありがとうございました！